

# 自立活動学習指導案

学級：特別支援学級  
対象：1年1人 3年1人 計2人  
場所：特別支援学級教室  
指導者：教諭 川尻 友美

## 1 活動名 「相手にわかりやすく伝えよう」

## 2 活動について

### (1) 活動設定の理由

〈生徒の実態〉

本グループは、「自己を多面的に理解する。」「集団の中でも意思表示することができる。」といった目標を基に構成された1年生1人、3年生1人の異学年の集団である。これまで、自分自身についてのマインドマップを作成したり、現在の自分や過去の出来事、将来の夢などについて、自分を幅広い視点から捉える学習をしたりしてきている。しかし、自分の得意なこと、不得意なことなど自己を理解することが難しく、中学校生活で起こる様々な状況の中で、自信をもって行動することが難しい場面がある。また、交流学級で特定の友達と関わりをもちながら過ごす姿が見られるものの、その関わりの中で、自分の考えを伝えられずに自分の意図しない状況で過ごしたり、状況に応じた伝え方を見出せずに過ごしたりしている。そして、教師との関わりでも、自分から「挨拶」することは難しく、教師から何度も挨拶されてからそれに答えるという状況がある。その原因として、思春期という不安定な時期であること、また、成功体験が少なく、自分に自信がもてなかったり、自分を客観的に見ることが苦手だったりすること、さらに、集団の中で、相手にわかるように自分の考えを伝えることが苦手だと感じており、意思表示することにためらいを感じていることなどが考えられる。

〈活動の意義・価値〉

このような生徒たちの実態を踏まえて、本活動では、「人間関係の形成」と「コミュニケーション」に焦点を当て、個々の課題を解決できるペア活動に取り組むこととした。意図的に自分を見つめ直す活動に取り組み、友達や教師からアドバイスをもらうことで、自分では気付かなかった一面を知り、多面的に自己理解をすることができる。また、相手の立場や気持ちなどに応じて、それにふさわしい表現で伝える体験をすることで、集団の中でも自分の考えをどう伝えるべきかについて学習することができる。さらに、これらの活動を通して、周りとのコミュニケーションを図ることで、自尊感情を高め、交流学級の中で、自分の考えを伝えようとする意欲を高めることができると考える。

〈ねらい〉

そこで、本活動では、他の生徒や教師からアドバイスをしてもらうことを通して、自分自身の新たな一面に気付くことができるようにする。また、相手のことを考え、相手にわかりやすく伝えるにはどうすればよいか、視点を与えることで、具体的に考えることができるようにする。さらに、生徒同士で確認したり、実際に伝える活動をしたりすることで、相手の気持ちに応じた対応の機会や場を設定し、他者理解を深め、コミュニケーション能力を高められるようにする。

〈指導観〉

まずは、人間関係づくりの基本である「挨拶」について、いろいろな場面を設定して学習する。そして、普段の「挨拶の仕方」についても振り返ることで、お互いが気持ちの良い「挨拶」ができるようにする。次に、「すきなどっち？」のカードを使い、好きなものとその理由を発表する活動を通して、相手に自分の考えを詳しく伝える機会にする。さらに、学習発表会に向けて有志を募る活動として、「ポスター掲示の依頼」を各クラスの担任にお願いすることで、発表内容などをわかりやすく伝え、掲示の許可を取るにはどうすればよいかを考える。また、それを他の特別支援学級の友達に伝え、みんなで同じ活動ができるようにする。

〈展望〉

これらの学習を通して、友達や教師からのアドバイスを参考に、自分自身を客観的に捉える体験を積むことができ、自分自身を多面的に知ることができる。また、生徒たちは相手にわかりやすく伝える学習をすることで、自信や意欲をもって活動しようとするようになると思われる。さらに、コミュニケーション能力を向上させ、積極的・協調的に人と関わろうとする意欲や態度にもつながっていくものと思われる。

(2) 生徒の実態

観点 生徒	実態や課題		発達検査等
	人間関係の形成	コミュニケーション	
A (1年, 男)	常にマイペースで、必要があれば人と接することができる。	意思表示をすることはできるが、一方的で、自分のペースで話し続けることもある。	田中ビネー IQ : 76 (R1. 8) 療育手帳B2 取得 (R1. 8) S-M社会生活能力検査 SA:6-9 SQ:54 (R1. 9)
B (3年, 男)	誰とでも関わることができるが、相手のペースに合せることが苦手である。	自分の都合が優先されることが多く、相手のことを考えたり、状況に応じて、それにふさわしい言動をしたりすることが難しい。	WISC-IV FIQ : 92 VCI : 74 PRI : 109 WMI : 103 PSI : 94 (H29. 3. 15) 療育手帳B2 取得 (R1. 8)

3 活動目標

(1) 全体目標

ア 他者との関わりを通して、自分自身を多面的に理解することができる。〔3-3〕

イ 相手の気持ちを考えながら、それに応じた言葉で表現し、自分の考えを伝えることができる。〔6-5〕

(2) 個人目標

生徒	年間目標 (個別の指導計画)	個人目標
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>集中して話を聞いたり、行動したりすることができる。 4-(2)</li> <li>自分の得意なことや不得意なことを理解することができる。 3-(3)</li> <li>相手の気持ちを考えた適切な言動がとれるようにする。 6-(5)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達や教師のアドバイスから、他者から見た自分について知ることができる。</li> <li>他者の気持ちに気づき、適切な言葉で伝えることができる。</li> </ul>
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の得意なこと、苦手なことを理解することができる。 3-(3)</li> <li>状況に応じて、相手の気持ちを考えた適切な言動がとれるようにする。 6-(5)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達や教師のアドバイスを受け入れ、今後活かすことができる。</li> <li>他者の気持ちを意識して、それに応じた対応をすることができる。</li> </ul>

#### 4 指導計画（総時数5時間）

学習活動・内容	時数	準備等
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ お互いが気持ちの良い「挨拶」について考える。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 普段の自分の挨拶の仕方を振り返る。</li> </ul> </li> <li>○ 他者との関わりを通して自己理解を深める。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他者から見た自分の挨拶の仕方を知る。</li> </ul> </li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自立活動の記録</li> <li>・ ワークシート</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の考えを伝える。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ カードを使い、好きな理由を伝える。</li> </ul> </li> <li>○ 正しく伝えられたかを確認する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相手に、好きなものとその理由を確認する。</li> </ul> </li> </ul>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自立活動の記録</li> <li>・ カード</li> <li>・ ワークシート</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習発表会の有志を募るポスター掲示の依頼をする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 伝える内容を考え、特別支援学級の友達と確認する。</li> <li>・ 伝え方の練習をする。</li> <li>・ 各クラスの担任に依頼に行く。</li> </ul> </li> </ul>	2 本時 (1/2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自立活動の記録</li> <li>・ ワークシート</li> <li>・ ポスター</li> </ul>

#### 5 本時の実際（4／5）

##### (1) 全体目標

- ア 友達や教師からアドバイスをもらうことで、自分では気付いていない一面を理解することができる。
- イ 学習発表会に向けて必要になる、「依頼」という活動を通して、相手にわかりやすく伝えることができる。

##### (2) 個人目標

生徒	個人目標
A (1年, 男)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ア 友達や教師の意見を素直に聞き、アドバイスとして受け入れることができる。</li> <li>イ 相手のことを考えて、伝える内容について話すことができる。</li> </ul>
B (3年, 男)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ア 友達や教師からのアドバイスを聞き、今後に活かそうとすることができる。</li> <li>イ 相手のことを考えて、適切な言葉で、伝える内容を具体的に言うことができる。</li> </ul>

##### (3) 指導及び支援に当たって

生徒たちはこれまで、自分自身についてのマインドマップの作成や学校生活で起こる出来事にどう対応すべきかについて学習してきた。また、現在の自分の様々な面や過去の出来事、将来の夢などについて考え、幅広い視点から自分を捉える学習もしており、徐々に自己理解が深まっている。

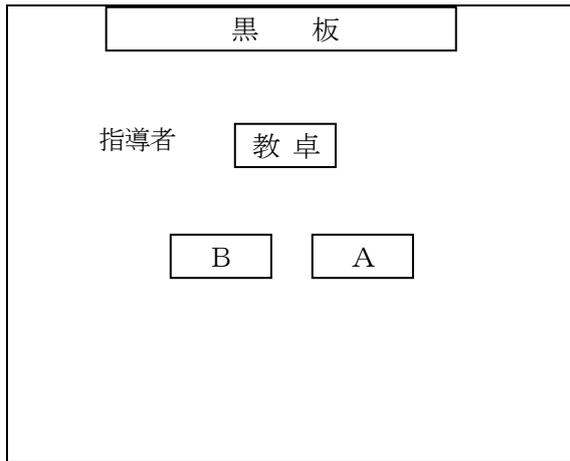
2学期には、学習発表会に向けて有志を募る活動として、各クラスの担任にポスターの掲示を依頼するための準備をする。

そこで本時では、相手にわかりやすく伝えるためには、具体的にどのようなことを伝えたと理解してもらえるかを考える。また、それらを他の特別支援学級の友達にも伝えることによって、みんなで同じ活動ができるようにする。そして、友達と依頼の仕方を練習し、よりわかりやすい伝え方について、友達や教師からアドバイスをもらいながら、わかりやすく伝えることができているかを確認する。さらに、実際に依頼する活動をして、適切な言葉でわかりやすく伝え、コミュニケーション能力の向上を図る。

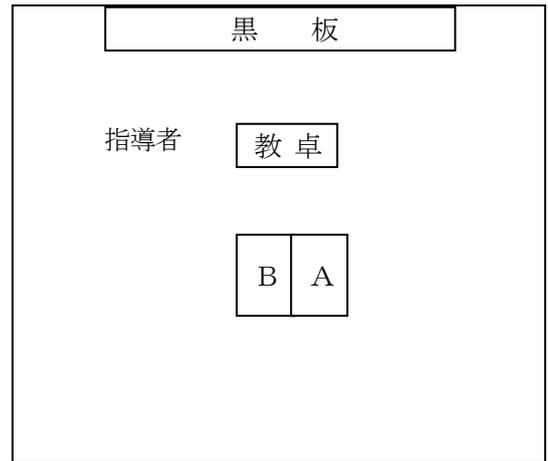
## (4) 実際

過程	時間	学 習 活 動	指導上の留意点	備 考	
導 入	10 分	1 始まりの挨拶をする。 2 本時の学習内容を知る。 (1) 目標を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">             伝える内容を考えて、チラシ              掲示を依頼する準備をしよう。           </div> (2) 学習の流れを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>リーダーの号令で姿勢を正して大きな声で挨拶ができるようにする。</li> <li>前時の学習を振り返ったり、本時の学習目標を確認したりして、期待感を高める。</li> <li>学習発表会に向けて、有志を募るための活動内容を確認することで、本時の見通しをもつことができるようにする。</li> <li>ポスター掲示を依頼するときに、何を伝えたらよいかを考え、伝える内容を決めることを知らせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>黒板</li> <li>自立活動の記録</li> </ul>	
展 開	30 分	3 ペアで課題に取り組む。 (1) ペアになり、伝えるべき項目を考える。 (2) 項目ごとに具体的な文言を考え、書き留める。 (3) 書き留めた文言を交代で言ってみて、伝わるかどうか確認する。 (4) 掲示の依頼をする手本の動画を見て、自分たちの伝え方の改善点を見付ける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートを見ることで、取り組む内容について確認できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート</li> <li>ポスター</li> <li>ヒントカード</li> <li>ホワイトボード</li> <li>タブレット</li> <li>TV</li> </ul>	
		4 考えた文言を項目ごとにまとめる。 (1) 依頼するときのメモを作成する。 (2) メモを基に、依頼の練習をする。(個人・ペア)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">A</th> <th style="width: 50%;">B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>実態に応じて、「ヒントカード」を活用できるようにする。</li> <li>文言だけでなく、伝える態度にも気を付ける。</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>項目ごとに具体的な文言を考える。</li> <li>考えた文言をホワイトボードに書き、適切な態度で、言うことができるようにする。</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>正確に伝わるかどうかを確認する。</li> <li>伝え方で良かったところや工夫したら良いところも、お互いに伝え合うことができるようにする。</li> <li>各クラスの担任に依頼することを伝えることで、実際の活動を意識できるようにする。</li> <li>チェック用紙を用いて、態度で気を付けた方がよいところをチェックできるようにする。</li> </ul>		A
A	B				
<ul style="list-style-type: none"> <li>実態に応じて、「ヒントカード」を活用できるようにする。</li> <li>文言だけでなく、伝える態度にも気を付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>項目ごとに具体的な文言を考える。</li> <li>考えた文言をホワイトボードに書き、適切な態度で、言うことができるようにする。</li> </ul>				
終 末	10 分	5 本時のまとめをする。 (1) 自立活動の記録を書く。 (2) 教師によるまとめを聞く。 6 終わりの挨拶をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自立活動の記録に記入し、本時の振り返りをする。</li> <li>次時の内容を確認し、わかりやすい伝え方を意識することができるようにする。</li> <li>リーダーの号令で姿勢を正して大きな声で挨拶ができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自立活動の記録</li> </ul>	

(5) 場の設定



導入・終末：特別支援学級（ひまわり）



展開：特別支援学級（ひまわり）

(6) 教材・教具

ワークシート

練習活動 ワークシート

○学習発表会の発表準備の準備を始めるには・・・

1 伝えることを考えよう。

2 練習で決めたところを書いてみよう。

3 メモを作ろう。

-----

-----

-----

-----

-----

チェック用紙

チェック用紙

○1回目

項目			
割合で			
友達に			

○2回目

項目			
割合で			
友達に			

○3回目

項目			
割合で			
友達に			

ヒントカード

**5W1H**

①Why 何のためにやるのか

②How どうやって実現するのか

③Who 誰がやるのか

④What 何をするのか、何ができるのか

⑤When いつやるか（期間・時期）

⑥Where どこでやるか

(7) 評価

ア 全体目標

- ア 友達や教師からアドバイスをもらうことで、自分では気付いていない一面を理解することができたか。
- イ 学習発表会に向けて必要になる「依頼」という活動を通して、相手にわかりやすく伝えることができたか。

イ 個人目標

生徒	個人目標	評価	教師の手立て	評価
A	ア 友達や教師の意見を素直に聞き、アドバイスとして受け入れることができたか。		友達の意見を理解できたかの確認に、その内容を教師が尋ねたか。	
	イ 相手のことを考えて、伝える内容について話すことができたか。		タイミングよくヒントカードを活用させたか。	
B	ア 友達や教師からのアドバイスを聞き、今後に活かそうとすることができたか。		友達や教師のアドバイスをどう活かすか、教師が尋ねたか。	
	イ 相手のことを考えて、適切な言葉で、伝える内容を具体的に言うことができたか。		内容だけでなく、言動にも気を付けさせることができたか。	

[ 評価基準：◎…達成できた ○…一部達成できた △…達成できなかった ]